

5 - 2 東海地方の微小地震の分布 (1999年11月1日~2000年4月30日) Distribution of Microearthquakes in Tokai District (November 1,1999-April 30,2000)

名古屋大学大学院理学研究科
Graduate School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1999年11月1日より2000年4月30日までの6カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

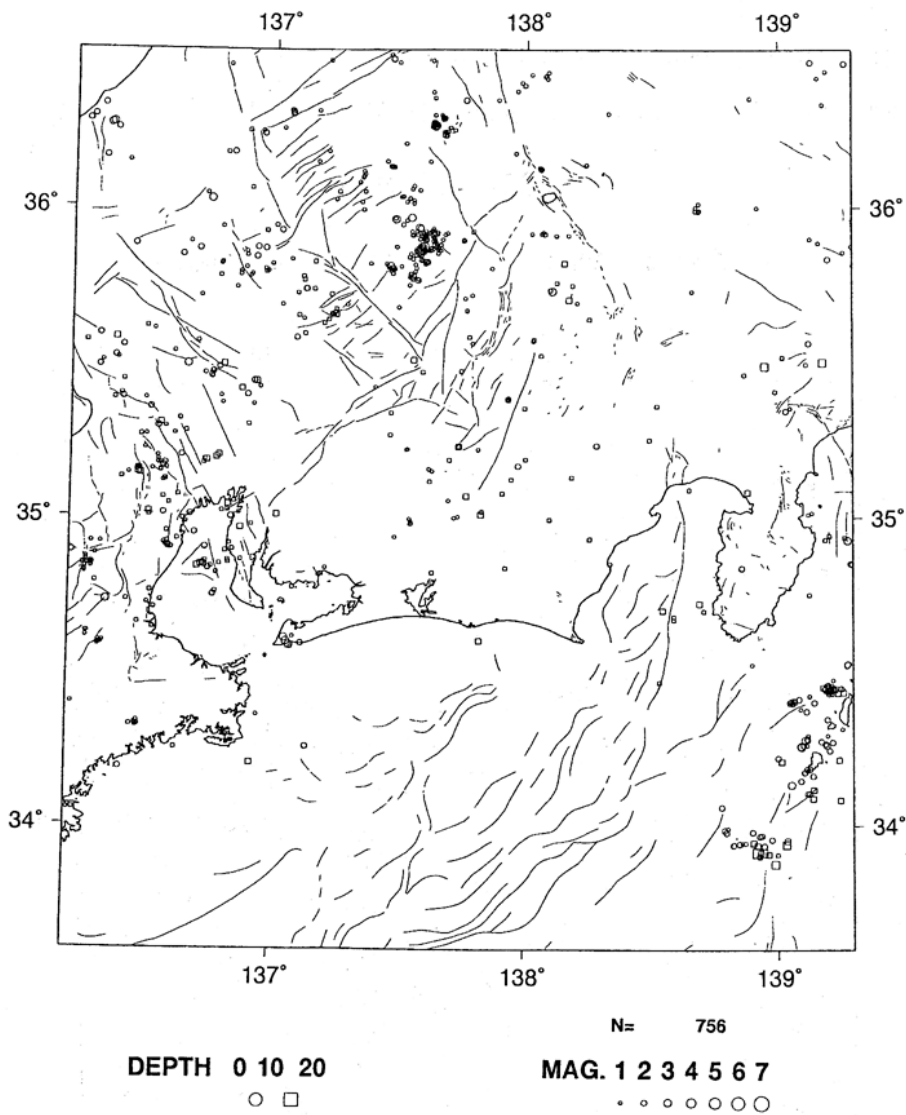
第1図は1999年11月1日より2000年4月30日までの6カ月間に名古屋大学大学院理学研究科の地震テレメータ観測網によって観測された20km未満の深さで発生している地震の震央を3カ月づつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20km以深から80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

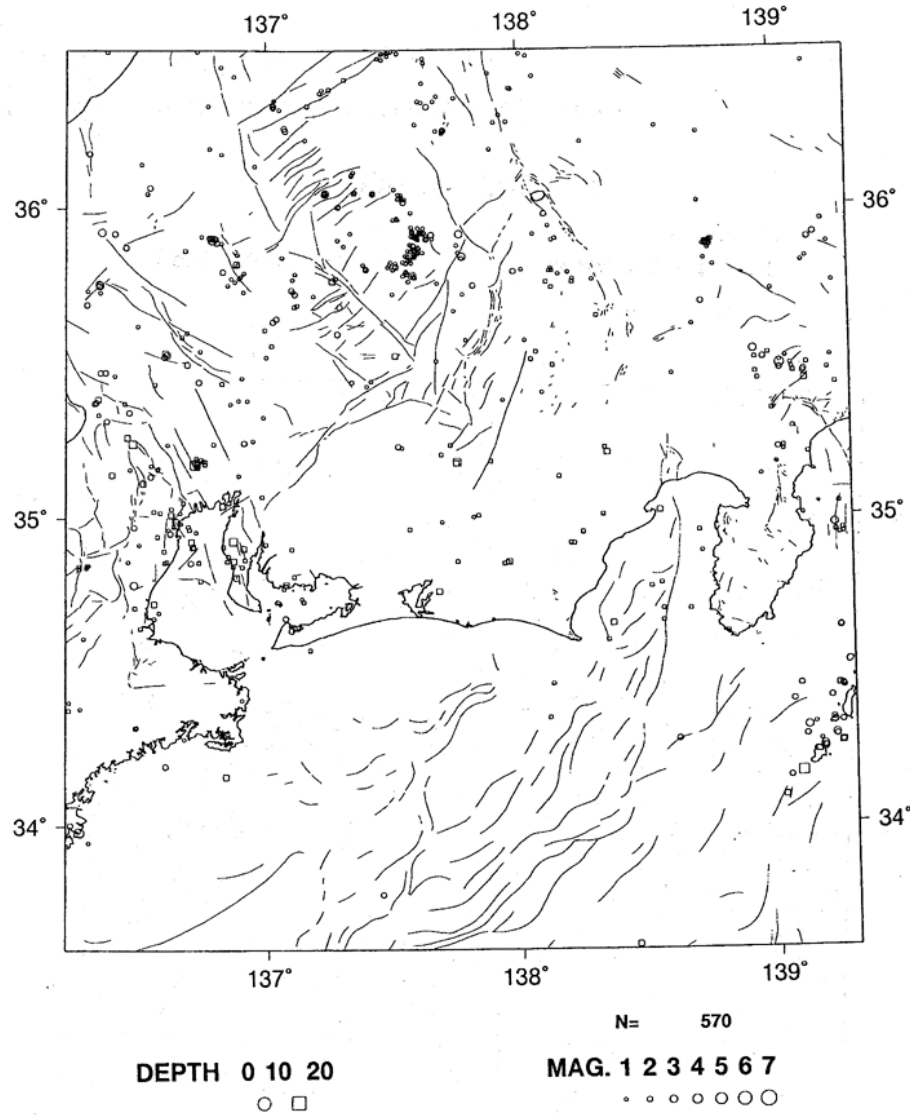
- (1) 上部地殻内に発生する地震については、東海地域では愛知県西部では静穏であったが静岡県東部ではやゝ活動的であった。
- (2) 長野県西部地域ではほゞ定常的であったが、前半期に比べ、後半期の活動は少ない。
- (3) 養老断層付近から伊勢湾北部の活動も前半期に比べ、後半期の活動は少ない。
- (4) フィリピン海プレート内の地震活動は全期間を通じて定常的な活動であった。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学大学院理学研究科：東海地方の微小地震の分布 (1999年5月1日~1999年10月31日), 連絡会報, 63, (2000), 239-241



1999 11 - 2000 1



2000 2 - 2000 4

第1図 微小地震の分布 (1999年11月1日~2000年4月30日) 震源の深さが20km未満のもの

Fig.1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1999-Apr. 30, 2000). shallower than 20km.

